

### いんぎん

# 民報

行 券 行  
社 報 民 き わ い  
報 民 報 新 報  
己 充 録 千 人 財 困 命 生  
く 除 九 日 録 月 録 刊 日  
十 二 一 日 五 月 年 一 二 和 昭

平市五丁目  
釜屋商店  
電話九番 九九番

### 配給明朗化に

#### 委員制を

小名瀨町では諸物資の配給の適正化を期すため今度物資配給管理委員制を設け、その適正化を期することに決定、人選中のところ五日左の如く決定、依拠した、配給面に於いて死角問題

の惹起し勝ちな折柄この委員制の設けは配給面に明朗性を與へるものとして期待されてゐる

委員制の新設

- 第一區 小林平、小野榮左
- 第二區 丹米子、松田善枝
- 第三區 小野作太郎、山野邊實
- 第四區 飯塚藤右門、吉田龍之助
- 第五區 駒木根長壽

鈴木秀彌

## 新圓一千余萬円

### 秋繭から代金全額新圓拂て

#### 張り込む郡下三千の養蠶家

蠶糸業の重要性に鑑み繭價を七百掛から一擧千八百掛(百二十五圓)に大幅に引上げると共に代金全額の新圓拂ひは夏秋繭繭より實施されることになつたがこれで春繭時の買百圓、總額三千圓以上封鎖拂の枠もはぶられたので養蠶家は新圓獲得の大道がひらけたわけである、郡下の秋秋繭繭は文字通り白銀の山をきつて居るが目標一萬貫達成の見透しがついてゐるので千七百五十萬圓にのぼる新圓が郡内養蠶家のふところにこもりこむことになる、また拵立中の晩秋繭繭繭は一萬三千貫の上繭ととると三百二十五萬圓にのぼるので合計すると二千七百五十萬圓の新圓が郡下三千の養蠶家にばら撒かれることになりこの決定は各方面から好感をもたれてゐる

### 平市の遺族會結成

#### 八日公會堂に會長は猪狩庄平氏が

平市遺族會の結成準備會は既報も九六%に達したが残りの四%の如く四日午後一時から市公會の完遂が仲々大變なもので五日午後三時から會議室で食糧對策委員會の生産専門委員會を開き供出促進を計つた

馬田ちやう氏等の出席をもつて開催、協議の結果市内の全遺族に對し趣意書を配布する一方八日午後一時から市公會堂で發會式を擧げることとした、會長は猪狩庄平氏が有力視されてゐる

生産専門委員會  
麥供出促進に  
市勸業課では市内の大小麥供出

### 愛谷江筋

#### 使用禁止

愛谷江筋 上流地内 赤痢患者が發生同江筋汚物混入の疑ひがあるので平署及市衛生課では當分の間江筋を使用せざる様が附近の隣里に注意を促してゐる

### 資材配給協議

農業者支部が農委會石城支部では資材配給の困難を期すため六日午前十時から平署會議室に町村農委會委員の多集をもつて資材配給協議會を開く、町村の希望と取扱い方法等について忌憚のない意見の交換を行ひ、食糧増産に一役買つて出づる

向町村各方面でも協議會を開き生産者と關係者が膝つき合せて熱談趣旨の徹底につとめる

飯野盛男氏 全國馬術馬聯理事へ 聯署結成式は二日中央馬事會で行はれたが東北六縣から平市飯野盛男氏が唯一人事事に選ばれた

### 自給

#### 燃料後援會結成

#### 内郷町の許可石炭業者連が

内郷町の許可石炭業者十一名は出を企て秋田縣沼館附近の豊今鹿全町子浦生利氏を會長家より精米一斗一升を一升六十に、再給製煉燃料後援會を結成の制で買ひ受け一備けを働かす、精製より月三百噸の配炭をうと運搬の途中、許可證をなく得て、これを基に全力を増産して輸送した際で平署に御用を以て製煉業者に供給することになり、去月七日第一回協議會を開いて具體的協議打合せを續けた、政府は自給製煉の奨励を行ふも、燃料關係等は無關心のため、自然燃料難から思ひぬき、製造業者はこれに鑑み再要求にも拘らず殆んど全面的にこれを指して結成をみられたもの、製造業者はこの誠意を認め、製煉業者の必要案として一人當り五百圓の厚生とする資材は極力供給すると共、資金のかわりに教組へ縣から五、十万圓の資金を給與されることとなつた、この拒否は全國官吏の特選改善七月案の實施を前提としてのものであるので、教組の一應一應これを受諾、七月案の則も一應これを受諾、七月案の實施をみる場合は即時再開を要するに万全の準備を整へること入つたが下旬に至り俄然返りは高炭價、山口礦、山一礦の三平市南町二六雜貨商根本虎藏

### 夏枯れを尻目に大增炭

#### 八月の出炭調へ

#### 小炭礦の好條件に

#### 目標突破一萬餘噸

毎年の減炭月であり打續く加配炭の標六二、八五〇と云ふ數點は何れもまだ増加の見通配と例年になき字を示し速報に依ると東北、東込みで石炭主産地方の意氣昂然に八月の出炭部管内八日目標十八萬噸に對して物言つてゐるが之につき炭礦量は上旬の五萬八、十八萬九千七百八十七噸、側では例年減少の八月にこの増二千二百二十二噸、突破九千七百八十七噸、前(目標六〇、三〇)年に比し九万三千七百四十四噸の増加であるが確報では十九万九千八百七十噸を突破する見込みとある、東北管内では主要炭礦十八礦の中(目標五五、八)北管内では主要炭礦十八礦の中(目標五五、八)と減炭で減炭は常磐湯本、内郷礦、古公休返上や土曜半休返上による増産が物を言ったのだと思ふ

給と煙草の闇

### 國鐵 應援街頭演説

#### 常磐炭礦勞組も應援隊編成

國鐵 應援街頭演説  
常磐炭礦勞組も應援隊編成

警城民主人民聯盟の國鐵爭議應援隊は既報の如く隊長新妻清一、青屋は共同で六日午後三時から境内で奉納演説大會を催し又七日午後六時から八時までは豊年踊りを催す

賑ふ催しの數々  
出羽神社大祭

### 工員募集

製罐工 若干名  
板金工 若干名  
但五厘鐵板加工出来る者

見習工 (十八才以下)  
女工 (二十才以下)  
若干名

希望者は履歷書を持參平動勞署へ  
セメント瓦製板製作  
鑛山用製罐工事及火造  
ボイラー製作及修理  
パイプ工事  
魚網用金物一式  
瓦斯接ぎ並電気接ぎ

古川鐵工所  
所長 古川直治  
平市御治町電五三三

### 米の運搬で

#### 静岡縣田方郡山室村社員鈴木

義(三七)は會社の収入難から買入る万全の準備を整へること入つたが下旬に至り俄然返りは高炭價、山口礦、山一礦の三平市南町二六雜貨商根本虎藏

### 田炭馨常く吐を氣

毎年の減炭月であり打續く加配炭の標六二、八五〇と云ふ數點は何れもまだ増加の見通配と例年になき字を示し速報に依ると東北、東込みで石炭主産地方の意氣昂然に八月の出炭部管内八日目標十八萬噸に對して物言つてゐるが之につき炭礦量は上旬の五萬八、十八萬九千七百八十七噸、側では例年減少の八月にこの増二千二百二十二噸、突破九千七百八十七噸、前(目標六〇、三〇)年に比し九万三千七百四十四噸の増加であるが確報では十九万九千八百七十噸を突破する見込みとある、東北管内では主要炭礦十八礦の中(目標五五、八)北管内では主要炭礦十八礦の中(目標五五、八)と減炭で減炭は常磐湯本、内郷礦、古公休返上や土曜半休返上による増産が物を言ったのだと思ふ

給と煙草の闇

### 海外協會佑賢圖書館

#### 力強き生活

#### 新しき文化の泉

九月一日開館

御利用には讀券を一枚五十圓(保證金)申込所 いはき民報社、警城春秋社、平日用品交換所所在地 平市城山六間門二〇

### 資材配給協議

農業者支部が農委會石城支部では資材配給の困難を期すため六日午前十時から平署會議室に町村農委會委員の多集をもつて資材配給協議會を開く、町村の希望と取扱い方法等について忌憚のない意見の交換を行ひ、食糧増産に一役買つて出づる

向町村各方面でも協議會を開き生産者と關係者が膝つき合せて熱談趣旨の徹底につとめる

飯野盛男氏 全國馬術馬聯理事へ 聯署結成式は二日中央馬事會で行はれたが東北六縣から平市飯野盛男氏が唯一人事事に選ばれた

